

# 市民吹奏楽団が40年の節目に記念演奏会を行う

創立40周年を迎えた芦別市民吹奏楽団の記念演奏会が9月17日、市民会館大ホールで行われ、市民など約200人が会場を訪れました。

同吹奏楽団は、市民による吹奏楽団として1983(昭和58)年10月に結成しました。

定期演奏会を始め、市内外の小中学校、高等学校との合同演奏会や吹

奏楽クリニック、健夏まつりやキラキラ☆フェスタなどのさまざまな行事で演奏を披露しています。

第1部ではクラシックなど3曲が演奏され、第2部では全員がおそろいのポロシャツ姿で登場し、映画音楽やポップスなど聴きなじみのある曲が奏でられ、訪れた皆さんは大きな拍手を送っていました。



## ★市長だより★

73



北海学園大学経営学部 佐藤大輔教授のゼミ生と芦別青年会議所(定田勉理事長)の主催で、札幌の大学生が、市に地域活性化策などについて提言いただく「芦別市地方創生アイデアコンペティション」が市内で開かれ、参加者の同大、北大、札幌大谷大の学生27人の皆さんが、9月14日から3日間の日程で、市内の企業関係者や芦別高校生との意見交換を行うほか、市内の観光スポットを巡るなどしてアイデアをまとめられ、16日に総合福祉センターで発表会が行われました。

私も審査員の1人として、参加させていただき、7グループの学生の皆さんから地域の活性化策や人口減少策、観光振興策や人材確保策などについて提言をいただき、いずれも興味深く、貴重なもので、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。

特に、優勝されたグループからは、駅前商店街の空き店舗などを活用して、小中高生が職業体験やゲームなどを行う「1日子ども商店街」の提言には、斬新さと発想力に富み感銘を受けました。

まちの持続的発展をめざす地方創生には、まちの特性に合った取り組みと新鮮な視点での外部の目線を取り入れ

ることの重要性を、改めて認識したところであり、こうした新たな発想や可能性をもって、まちの魅力を最大化できるよう努めてまいります。

同17日、芦別市民吹奏楽団(梅田正孝会長)の創立40周年記念演奏会が市民会館で多くのご参加者のもと、盛大に開催されました。

ご案内をいただきましたことから、喜んで出席し、お祝いの言葉を申し上げます。

同楽団は、音楽を愛する市民の皆様により設立され、これまで定期演奏会をはじめ市内小中学校、高等学校との合同演奏会や、芦別健夏まつりなど各種イベントでの演奏活動を通じて本市



9月16日、「地方創生アイデアコンペティション」に参加し、貴重な提言をいただき、今後のまちづくりの参考にさせていただきます。

の音楽文化の振興に多大なご貢献をいただき、また、40年という歳月の長さに思いを馳せ、梅田会長をはじめとする団員皆様の地道な活動のご努力に、改めて心から敬意と感謝の意を表する次第です。

40年の歴史を紡ぐ音色で、心のもった素晴らしい演奏を存分に堪能させていただきます。

輝かしい40周年を契機に、芦別市民吹奏楽団の益々のご発展を祈念するとともに、今後とも本市の音楽文化の振興に、ご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。

10月29日には、芦別130周年・市制施行70周年の記念式典と併せ、芦別市出身で作家・外交ジャーナリストの手嶋龍一氏の「北の大地から新たな針路を探る」と題しての講演会が市民会館で開催されますので、市民皆様のご来場をお待ちいたしております。

これからの季節は日ごとに日没の時間が早まりますので、歩行の際には、できるだけ明るい服装や夜光反射材の着用をいただくなど交通事故防止へのご協力をお願いいたしますとともに、季節の変わり目からも健康管理に十分ご留意ください。(9月20日記)

芦別市長 荻原 貢